

2018年度 自動車・自動車部品WG 活動報告

『模倣自動車部品の販売・流通削減と 自動車産業に係る知財情報収集』



2019年3月14日

中国 I P G 自動車・自動車部品WG
岩田潤治（電装（中国）投資有限公司）

AGC

KYB

TOYOTA

DENSO



mazda



新日铁住金

HONDA

NISSAN

JAMA

1. 活動報告

1-1. 活動テーマ

【テーマ設定の考え方】

- 模倣自動車部品を使用した場合、**お客様の安全に影響**を与える可能性がある
⇒ **模倣部品の流通・販売を減らす**取り組みを行う（No.1-5）
- 昨今、自動車産業に係る**知識産権連盟・専利快速保護センター設立**の動きがある
⇒ **実態・動向を調査し、日系自動車関連企業としての対応・活用方法**を検討する（No.6-7）

【活動テーマ一覧】

No.	テーマ名	担当
1	摘発押収品の廃棄	日産、新日鐵住金
2	モーターショーでの消費者啓発活動	KYB
3	共同啓発活動 (対当局、対消費者（モーターショー以外）)	マツダ、AGC
4	自動車・自動車部品に関する模倣品実態調査 (オフライン、オンライン)	デンソー
5	VDAとの連携した模倣対応活動	トヨタ
6	中国自動車産業知識産権連盟の実態調査	日産
7	重慶市専利快速保護センター（自動車産業用）の実態調査	ホンダ

1. 活動報告

1-2. 2018年度実施事項/活動成果の一覧

No.	テーマ名	2018年度の実施事項/活動成果
1	摘発押収品の廃棄	・西安AICから紹介された 罰没公物管理センターに商標ロゴが取り外された押収品の廃棄状況を確認 （罰没公物の性質によって異なる方法で処理しており、毒などに係るものは司法機関に渡して処理してもらい、権利侵害物であれば全て廃棄）
2	モーターショーでの消費者啓発活動	・ 広州MS（開催日：11/16(金)～11/25(日)）でのブース展示&FM放送の実施、アンケート分析
3	共同啓発活動 （対当局、対消費者（モーターショー以外））	・プラットフォームを微博に決定し、 発信コンテンツ、運営体制、コスト見積り、委託先選定等を完了
4	自動車・自動車部品に関する 模倣品実態調査（オフライン、オンライン）	・ インターネット委員会と合同でアリババと交流。また、オンライン・オフライン連携のワークフローを調査会社から情報収集し、WG内で共有
5	VDAとの連携した模倣対応活動	・VDAとの間で 模倣部品の摘発件数・地域等のデータを共有し、当局訪問・アリババとのデータ共有等を検討
6	中国自動車産業知識産権連盟 の実態調査	・特に目立った動きはなく、 継続監視中
7	重慶市専利快速保護センター （自動車産業用）の実態調査	・快速保護センターが運営開始したため、 先方を訪問し、意見交換・セミナー等の連携を合意 。先方は機能強化の新機構を設立する可能性も示唆

1. 活動報告

1-3. 摘発押収品の廃棄実態の調査

【課題】

- ・自動車部品は消費者の命にかかわるため、押収侵害部品の完全廃棄が必要
 - ・自動車部品は様々な材料を含んでおり、環境に優しい廃棄手法の実現が必要
- ⇒上記実現のために、2015年より当局の廃棄実態調査を開始し、これまで実施した税関の実態調査に加え、AICの実態調査を行い、課題抽出と提案につなげる。

【実施事項】

- ・西安AIC、西安市罰没公物管理センターからのヒアリング

【成果】

- ・商標ロゴが取り外せないもの、取り外せるもの、何れも法規に則って廃棄処理されていることを確認

【2019年度実施計画】

- ・VDA連携の議題の1つに挙げ、共同での当局訪問を通じて実態調査を継続する

1. 活動報告

1-4. モーターショーでの消費者啓発活動

【課題】

- ・模倣品に対する消費者意識向上には、継続的な活動が必要
- ・展示内容への興味増大、多くの消費者へメッセージ発信、ネット購入状況把握

【実施事項】

QBPCと共同、JAMA・JAPIAの協賛を得て真正品と模倣品を比較展示

MS開催期間：2018年11月16日～25日（MS来場者数 約69万人）

【成果】

模倣品危険性紹介、純正品品質・保証アピール、4S店利用の啓発
知財関連政府部門・報道関係者へ周知と協力依頼、広東FM放送局コラボ継続、
クイズラリー・イメージキャラクターによる集客増大、アンケートによる消費者動向把握

【2019年度活動計画】

数少ない直接の消費者への啓発機会であり活動を継続する。

⇒18年度反省点を改善の上、広州MSでのブース展示＆FM放送出演を実施し
消費者への啓発と消費者動向変化の把握を実施する。

1. 活動報告

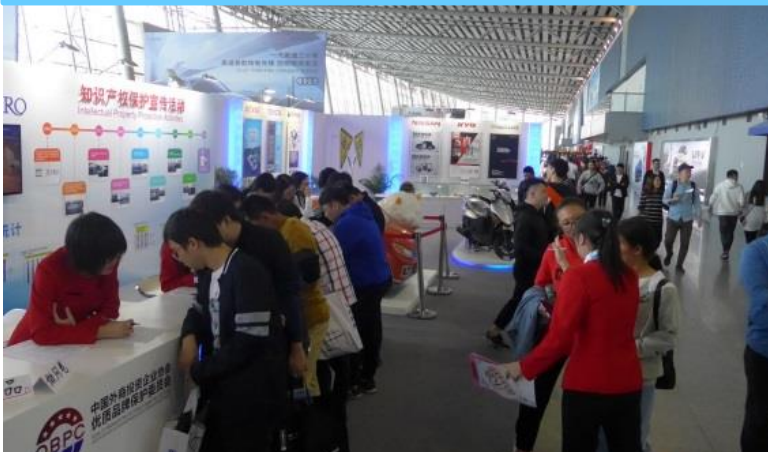
1-4. モーターショーでの消費者啓発活動



**多くの消費者に対し啓発
広東FM放送局とのコラボ継続**



**当局へのアピール・協力依頼
当局招待継続、8局32人来展**



**消費者動向調査(アンケート)
過去最高の2,149名から聴取**



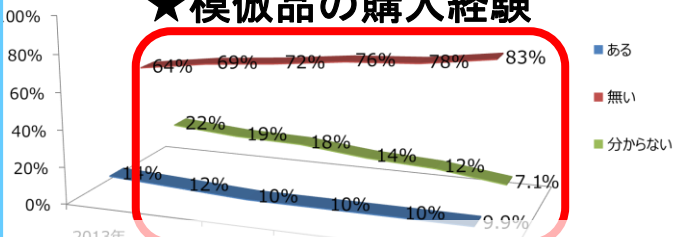
**展示内容への興味喚起
展示歴史紹介、クイズラリー実施**

1. 活動報告

1-4. モーターショーでの消費者啓発活動

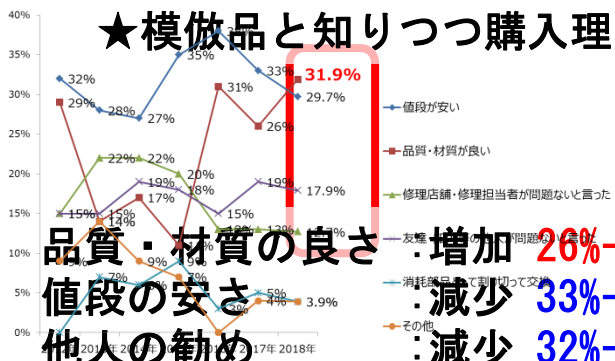
アンケート分析結果（抜粋）

★模倣品の購入経験



購入経験無し：毎年増加
72% → 76% → 78% → 83%

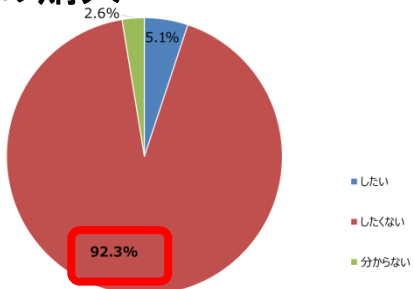
★模倣品と知りつつ購入理由



品質・材質の良さ：増加 26% → 32%
値段の安さ：減少 33% → 30%
他人の勧め：減少 32% → 31%

★今後の模倣品の購入

購入しない：92%
購入する：5%
分からない：3%



★消費者・当局へ
貴重なアピールの場
★関連団体一致団結

MS出展
活動継続

★模倣品の購入経験
無しが毎年増加

消費者啓発
活動継続

★模倣品購入理由の
品質の良さが増加

純正品購入
利点周知

★多くの消費者に対し
啓発活動

広東FM放送
局コラボ継続

★ネット購入者増加への
対応

純正品購入
方法の周知

1. 活動報告

1-5. 共同啓発活動（対当局、対消費者（モーターショー以外））

【目的】

- ・ 模倣品の問題や危険性を、当局や一般消費者に広く理解して頂く事で、お客様の安全安心と、我々のビジネスを守る。

【実施事項】

- ・ インターネットSNSプラットフォーム（微博）を利用し、我々の活動、模倣品の問題と危険性、対策等の情報を定期的に発信し、当局や一般消費者の模倣品に対する理解を深める企画の準備を完了した。

【成果】

- ・ 発信コンテンツ、運営体制、コスト見積り、委託先選定等を完了。

【2019年度活動計画】

- ・ SNSを活用した情報発信を4月より開始し毎月実施する。
- ・ 閲覧ログ等を分析し拡大状況等の効果を確認する。

Weibo
発信
イメージ



1. 活動報告

1-6. 模倣品実態調査（オンライン、オフライン）

【前年度の積み残し課題】

前年度の調査結果を活用し、以下の活動につなげること。

- 1) ISPとの関係構築
- 2) 共通ターゲットの共同摘発
- 3) オフライン・オフライン連携の深堀り



【実施事項】

- 1) インターネット委員会と合同でアリババと交流（エアバック使用の危険性を示す技術資料・実験データ等の提供依頼を受け、JAMAルートで検討中）
- 2) 共通ターゲット・費用負担を決定するも、摘発前の再調査時で少量サンプルしか発見されず、摘発断念
- 3) オンライン・オフライン連携のワークフローを整理し、WG内で共有

【成果】

- ・ アリババとの関係構築
- ・ オンライン・オフライン連携の課題（ISP保有情報の活用）を認識



【2019年度活動計画】

- ・ VDA連携の議題の1つに挙げ、共同でアリババとの交流を継続する。

1. 活動報告

1-7. VDAとの連携した模倣対応活動

【目的】

- VDAメンバーとIPGメンバーのノウハウを共有する。
- VDAと連携し、相乗効果をもたらす共同活動を実施する。

【実施事項】

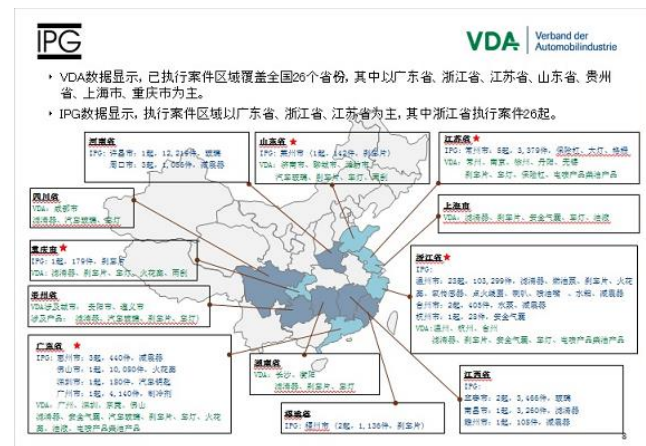
- 17年度各社摘発データ収集と分析
- VDAとの意見交換会を2回実施（Pre 11月13日、全体 11月14日）

【成果】

- 模倣部品の摘発件数や地域のデータ共有
- 共有データに基づき、下記共同活動に合意
 - ・河北省当局摘発活性化への働きかけ
 - ・内陸当局とのネットワーク強化
（希望：四川省、重慶市）
 - ・18年度各社摘発データ収集と分析
 - ・アリババAIWGへのデータ提供

【2019年度活動計画】

- VDAと連携し、上記共同活動を実施する。



1. 活動報告

1-8. 中国自動車産業知識産権連盟の実態調査

【課題】

- 北京福田が中心になって中国自動車産業知識産権連盟が発足。パテントプール等の動きがあった場合、日本企業にとって脅威となる可能性があるため、その実態・動向を調査する必要がある。

【実施事項】

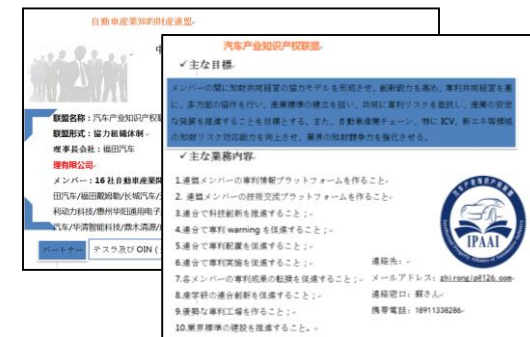
- JAMA-CAAMルート、公開情報等を利用して継続ウォッチング

【成果】

- 今年度は目立った動きが無し

【2019年度活動計画】

- 継続して動向調査、何らかの目立った動きがあった場合は意見交換を打診



1. 活動報告

1-9. 重慶市汽車摩托車知識產權快速維權中心の実態調査

【目的】

- 快速保護センターの設立実態、組織体制、業務内容等を把握する。
- 快速保護センターと連携し、セミナー・啓蒙活動等を図る。

【実施事項】

- 快速保護センターの設立実態を調査し、訪問実施

【成果】

- 2018年07月12日 正式運営開始
- 2018年12月26日 訪問実施、現状把握
 - 業務内容：重慶市全域における**2・4R企業の意匠権**に関する**出願支援、権利確定、権利保護**
 - 業務進捗：出願支援に注力している段階（実績は一件のみ）
 - 連携可能：法執行機関ではないが、紛争調停や、証拠提示等へのサポートは可能、共同活動歓迎
 - 情報共有：2019年に**機能一層強化**の新機構（「〇〇保護センター」）を設立される可能性がある

組織体制

重慶市両江新区科技創新局



両江新区知識產權服務中心

（重慶市汽車摩托車知識產權快速維權中心）

・專利管理科：知財サービス、快速権利保護

・総合科：管理、人事、財務

合計20人程度

【2019年度活動計画】

- 実績創出による既存機構機能への検証を進める
- 新機構情報の継続的収集、連携可能性と運営方法を探究する

2. 2019年度活動計画のまとめ

No.	テーマ名	積み残し課題	2019年度実施計画
1	摘発押収品の廃棄	AICでの廃棄状況確認と適切な廃棄の働きかけ	・VDA連携の議題の1つに挙げ、共同での 当局訪問を通じて実態調査を継続 する
2	モーターショーでの消費者啓発活動	アンケート結果に応じた展示・運営方法の改善	・18年度反省点を改善の上、 広州MSでのブース展示&FM放送を実施 し、消費者動向の変化を継続的に把握する
3	共同啓発活動	コスト・コンテンツ・運営体制の具体化	・ SNSを活用した情報発信を4月より開始 し毎月実施する。 ・閲覧ログ等を分析し 拡大状況等の効果を確認 する。
4	模倣品実態調査 (オフライン、オンライン)	調査結果を踏まえた対策検討	・VDA連携の議題の1つに挙げ、共同で アリババとの交流を継続 する
5	VDAとの連携した模倣対応活動	連携テーマの実施	・VDAと連携し、共同活動（ 河北省当局摘発活性化への働きかけ、内陸当局とのネットワーク強化、18年度各社摘発データ収集と分析、アリババAIWGへのデータ提供 ）を実施する
6	中国自動車産業知識産権連盟の実態調査	調査の継続実施と対策検討	・継続して動向調査、 何らかの目立った動きがあった場合は意見交換を打診 する
7	重慶市專利快速保護センターの実態調査	機能検証と新機構状況把握	・ 既存機構機能への検証を推進しながら、新機構情報収集と詳細状況への探究を実施 する